

教員名と研究室名

准教授 中山 明 / 植物分子育種工学研究室

主な研究内容と目指す将来像

日本では人口が減少する傾向にありますが、世界的には今後も人口が増えていくと予想されています。そのため、安定した食糧確保は地球規模での重要な課題です。食糧を下支えする植物に着目し、植物免疫の仕組みを解明することで、安定した食糧供給への寄与を目指しています。

研究キーワード

植物の病害防除／遺伝子組換え植物／バラ／イネ／シロイヌナズナ

研究の魅力・面白さ

- ✓植物の免疫の仕組みについてはまだわからないことがたくさんありますが、世界中で行われている様々な研究によって徐々にそのメカニズムが解明されてきています。その「メカニズムの解明」の一端を担うことが可能です。
- ✓現在頻繁に耳にするPCR装置を使って、植物の免疫に関わる遺伝子を自分で取得し、解析していくことが可能です。



左写真:バラ(ゴールド・バニー)
右写真:シロイヌナズナ

履修しておきたい推奨科目

生体分子化学(2年前期)、生化学(2年後期)、分子生物学(3年前期)、植物生理学(3年前期)、遺伝子工学(3年前期)

研究室配属希望者へのメッセージ

研究を通じて、植物の様々な生命現象に関する理解を深めるとともに、遺伝子工学的な技術も習得できます。実験を通して生命現象を解明し、その知識を応用することに興味がある人を歓迎します!

連絡先

aknakaya@maebashi-it.ac.jp